

# 釧路南ロータリークラブ会報

第42回 例会報告 2008.5.16 通算1253回

・点 鐘 佐野会長

5月10日(土曜)合同事務局第3回の打ち合わせがありましたのでご報告いたします。

・ロタリーソング  
「それでこそロータリー」

ローターアクト合同事務局利用の件は、アクトへ打診したが回答が無いため次年度へ持ち越し



ソングリーダー 菅井 紀之会員

事務局パソコン購入の件は5月7日に購入し現在稼働しています。

事務局員の賃金の件は時給50円アップで決定です。

事務局の暖房機が冬期寒すぎるので交換することで決定です。

既存網戸が破損しているのを交換する。

既存冷蔵庫が壊れているので2~3万円の小さなものを購入する。

事務所の共益費の値上げの要請があり、現在交渉中です。

・入会記念祝  
花田 善廣会員 H8.5.17(12年目)

次年度の5クラブ代表幹事クラブは、南クラブです。工藤幹事頑張ってください。又、会員の皆様もご協力をお願い致します。



・幹事報告

・会長挨拶



\* 釧路西RC、白糖RC、根室西RC、厚岸RCより会報を拝受しております。

\* 本日、例会終了後理事会を開催します。

\* 次週の例会は、25日(日)となります。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

花田 善廣会員 入会記念祝として

## ・次期幹事より

次年度役員会のご案内

### 出席委員会

会員 28 名 17 名出席 出席免除者 1 名 62.9%

## ・本日のプログラム

### 「 パスト会長卓話 」

担当 会員増強委員会

#### 船戸パスト会長



私が会長を務めたのは、入会してから 5 年目。今から 17~8 年も昔の事になります。この年がちょうど当クラブの 10 周年記念の年にあたりまして、なぜかその前から「10 周年の会長はお前がやれ」と先輩会長より何回も言われまして、10 周年は本当に盛大に例会をやりたかったのですがまだ弱小クラブであり歴史も浅い事から資金も十分に無いと言う事で、しからば 10 周年記念とあまり大きな事は言わないで小さく例会と言う事にしてはどうかということで、10 周年記念例会というふうにしてやりました。場所もせっかくの例会ですから、たくさんの人に来て欲しいのは山々なんですけれどもやはり当時は東映ホテルの 11 階が例会場でありましたので、何とかこの場でやるようにしようじゃないかと言うことで対象招待者、また出席していただく方々をある程度限定をしたと言うか 1 クラブ何人と人数制限したようなやり方でやった記憶があります。これが当クラブの

周年行事の最初であったようであります。おかげでその後、順調に当クラブも発展続けてきておった訳であります。南クラブは第 7 分区の当時は分区代理、今はガバナー補佐と称してますが分区代理の輩出口ローテーションの中にまだ入っておりませんでした。まだまだ若いクラブだから早いと言う事で入れてもらえていなかった訳であります。10 周年を境にもう南クラブも大人のクラブに仲間入りしたのだから分区代理のローテーションに入って分区代理を出さなければならないという話が当時出た訳でございます。

そして五年後にいよいよ南クラブより分区代理を初めて出す事となりました。その時、パスト会長会や理事会等開催して誰が分区代理を引き受けるかと言う事で色々話し合いました。なぜか私にやれと言う声が多くありまして、あれよあれよという間に分区代理を引き受ける運びとなったと言うのが当時の経緯でございます。私としてみれば、まだ入会して 5 年後に会長はやったもののそれからまだ 5 年しかたっておらずロータリーの事はまださっぱり覚えてないと言うような時期でありましたから大変心配を自らしまして、果たしてその大役をこなせるかどうか心配をしたのですが何とか皆さん御支援を頂ければできるのでないかと言う事で皆さんにご協力をお願いしてスタートいたしました。そのかわり随分、勉強もさせて頂きました。ただ救われた事は、もう亡くなられましたが当時のガバナーの坂本先生が色々教えて頂き、たいへん私人身感謝しております。それから分区代理を夢中でやって 1 年があっという間に経とうとする時に、たまたま G S E の団長が急病で倒れたと言う事で、この時も急遽私がピンチヒッターとして G S E の団長としてアメリカに行くと、以前にもお話しした事があると思いますが、出発のわずか 10 日切ってる切羽詰まった時期で、私も準備も何も十分にできない状態でした。私も分区代理という立場でなければ断れたかなと思うのですが、やはりガバナー補佐する立場にいた関係上、逃げられない運命でありました。そんなことで無謀にも団長役を引き受けて行く事になって、悲壮な決意でアメリカに行ったのが今から 12 年も前になります。向こうに行って団長の仕事と言うのは、ロータリアンではない団員（ロータリアンは団長

だけ) 女性3名、男性1名の構成でしたが、この4名を安全に連れて行って安全に帰って来る事が最大の使命でございました。もう一つは向こうのロータリークラブ等に訪問するわけですが、その時にスピーチをしなければならない。これがまた大変な仕事でありまして、私が若い頃ほんの少し英語の勉強をしたもののスピーチなんてした事がない。日本語のスピーチもまともに国内でした事がないのに、アメリカに行って英語でスピーチするなんておとさんと地球とがひっくり返るような大変な思いをしました。しかし行くと決めた以上、向こうでスピーチをしなければならないと言う事で当時メンバーの一人で皆さんもご承知かと思いますが、英語が堪能な上林佳子さんと言うメンバーがいて、この方は英検の準一級を持っており英語はペラペラで大抵の事は大丈夫という力強いメンバーがいました。彼女は帰ってきてからさらに勉強をし、ついに英検一級の資格を取り、さらに通訳の資格も取得したと聞いております。すごい勉強家であって素晴らしい女性であります。スピーチの原稿は本来行くはずであった団長の物がありましたので、そのままそっくり譲り受け上林さんにテープに吹き込んでもらい、それを三回くらい聞いてそして、当時英会話教室に通っている私の娘に一度聞いてもらいました。「発音的には特に問題は無いけど、お父さんちょっと力入りすぎているんじゃないの？」と娘に言われちょっとショックでした。出発の際、成田で一泊だったものですから時間があつたのでメンバーのみんなに私のスピーチを聞いてもらいました。「今のうちに変な所があったら言って下さい。向こうに行ってから恥じをかくの嫌なので」と言ったら、上林さんが「団長、大丈夫ですよ。ただ強いて言えば3ヶ所の単語の発音がちょっとアクセントの位置が違いますからそこだけ直せば大丈夫です。」と嬉しい指摘をしてくれた事が私の救いとなりました。本当は機内でも練習しようと思ひ、ウォークマンも持参したのですが用意してくれた座席がビジネスクラスの座席だったので快適ですと寝てしまい結局何も練習しないままでした。ぶっつけ本番と腹をくくり、最終的には12回程スピーチをしました。大変お恥ずかしいことですが、その中で1回だけ間違えてしまいました。原稿を読みながらスピーチをするため、同じ行を2回言ってしまう失笑をかいました。その時は、さす

がの私も素直に謝りました。それでも、いきなりやった割には自分ながら上出来だと思いました。例会が終わった時、向こうのロータリアンの一人が駆け寄り私に話しかけてきたのです。「あなたは英語がしゃべれるんですね」と英語で話しかけられ、大変困りましたがとっさに「英語はそんなに上手にしゃべれないが、日本語なら上手に話せる」と英語で言い返しました。それくらいなら話せたのでそのように言ったら、向こうのロータリアンは「私は日本語はしゃべれない」と言ってあたふたと逃げて行ってしまいました。そんな思いをしながら、一ヶ月も回っているうちに会話も少しできるようになりました。会話ができるという事は、相手の話が聞き取れなければ会話はできません。最初は全然、聞き取れなかったのですが2週間経つうちにだんだんと聞き取れるようになり、それに対して「YES」「NO」でも他の言葉でも返せるようになりました。帰る頃には、勉強したてのお礼の言葉もしっかりと胸にたたんで、お世話になった人達にお別れの際、「あなた方の親切は生涯忘れることはありません。ありがとうございました。」とお礼の言葉を英語で話しました。男性には男同士なので言わなくてもわかりあえますが、ご婦人の方々にお礼の言葉を申し上げると感極まって抱きあったり、肩をたたきあって名残を惜しみあいました。そういう仕草も生まれて初めてだったものですから、最初は戸惑いましたが二、三度経験しているうちに感情を表すのは本人ですと言葉でしか表現できないが、向こうの人達はそのような態度で表す事にただただ関心いたしました。そんな色々な思い出を残しながら、一ヶ月が経って帰ってきました。すぐ、帰国報告会などがあつたのですがこの事が縁で何年後に小船井修一さんがガバナーになった時に、GSE委員長の要請がありました。それからGSEというプログラムとの縁が切れるどころか益々、深まってとうとう去年から今年にかけてタイとのGSEの実行責任者となった訳でございます。これで私のこの地区における役員として最後と決めてご奉公しましたが、来期の足立ガバナーエレクトに「引き続きGSE委員長をお願いします。」と言ってこられたのですが、「もう十分に地区に貢献したはず。もうこれ以上、私を責めないで欲しい。」と言って丁寧に



お断り申し上げました。再来年、旭川から出るガバナ一年度には当初アメリカのコロラド州とのG S E交換をするという話だったのですが、最近になってこの話がボツになり、マレーシアとG S E交換を行うようになってきております。私とG S Eとの関係は先程もお話したように、団長を勤めた事が一番深くなりましたが、それ以前に私が会長と勤める前の年の佐藤輝治さんが会長の時に、アメリカのジョージア州とのG S E交換がこの地区とありまして、その時に向こうから来られた女性メンバーの一人を私の家に二泊三日だと思ったんですが、お預かりした経験がありました。それがG S Eとの最初の出会いではなかったかなと思います。とにかく向こうも日本語はわからないし、こちらも英語はわからない。そういう中でお互い、勉強しあって交流を深めた事が関心を持つ一つのきっかけになったと今思います。G S Eの事業も今年でちょうど40年目を迎えます。40年の間においてこの地区では13回、ちょうど3年に一度のペースでやってきておりまして、去年のタイとの交換がこの地区における13回目です。皆さんもご承知の通り、去年タイから来られたトウイ団長さんがご夫婦で今年の当地区の地区大会に来られるようです。今度来た時は大いに歓迎したいと思っております。みなさんもお会いする機会があると思います。今度来る時は公式では無く、プライベートな来訪となりますので楽な気持ちでお迎えしてあげたいなと思っております。最後に、今まで2500地区がG S Eをやった内訳ですが先程もお話したように13回なのですが、そのうちアメリカとの各地区での交換が7回。あと、カナダ・オーストラリア・イスラエル・バングラディッシュ・インドネシア・タイと各1回ずつ。しばらく前まではアメリカが圧倒的に多かったのですが、ここ最近はアジアの諸国との交換が増えてきています。再来年はマレーシアなのでまたアジアと言う事になります。これからみなさんにはこういう機会がありました折には、決して怯むことなく積極的に交流に当たって欲しいと思います。



## ・ 次回のプログラム

5月23日(金) 休会(5/25に振替)

5月25日(日)

「花見例会(家族同伴)」

会場 鶴居・大津つり公園

担当：親睦活動委員会

・ 点 鐘 佐野会長  
今週の会報担当：渋谷 諭会員